

公共事業再評価調書（再々評価）

所管課：道路街路課

1 事業概要 (整備目的)	事業名：都市計画道路3・2・6号胡屋泡瀬線(2工区)街路事業		前再評価年度：平成29年度		
	事業種別：街路事業	事業主体：沖縄県	(H20 ~ H34)		
	事業箇所：沖縄市	根拠法令：都市計画法	事業期間：H20 ~ R9		
	総事業費(百万円)：10,218	費用内訳：補助 9/10	事業量：L=1.0km W=32m		
1-2 前再評価以降の計画変更	事業期間の変更及び事業費の変更を行った。				
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間（5年）を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input type="checkbox"/> ③ その他（ ）				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input checked="" type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他（ ） ・補償内容に対する不満等で、用地取得が難航したため。 ・一括交付金が減少傾向にあり、予算の確保が困難なため。				
4 事業の進捗状況 (R4.3末時点)	項目	事業費(百万円)	整備済み(m)	用地取得(千㎡)	用地取得(筆)
	計画	10,218	1,000	32.4	242
	実施済	4,684	0	20.6	113
	率	46%	0%	64%	47%
4-2 前再評価以降の主な進捗	任意交渉で用地取得を実施。				
5 事業効果の評価指標 (検討年50年) (基準年 R4) (単位:百万円)	① 走行時間短縮	32,901	①事業費(全事業費の合計)	9,420	
	② 走行経費低減	2,950	②維持管理費	150	
	③ 交通事故減少	300			
	総便益	36,151	総費用	9,570	
	基準年換算(B)	13,238	基準年換算(C)	10,722	
	費用便益比 (B/C) = 13,238 / 10,722 = 1.2				
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済：・特になし。 ② 地元・自治体：・平成28年度の中部土木事務所と中部市町村との意見交換会にて、当該路線の整備に対する要望があった。 ③ 利害関係者：・特になし。				
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 沖縄県緊急輸送道路ネットワーク計画に第1次緊急輸送道路として指定されており、平時から緊急輸送道路の耐災性を確保し、災害時における緊急車両の通行を確保する必要がある。 また当該路線は交通渋滞が慢性化しており、地域の経済活動の支障となっている。そのため、当該路線の整備を早急に進めることにより、沖縄自動車道等への円滑な移動確保による渋滞緩和を図る必要がある。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性やコスト削減)： 胡屋泡瀬線については、当該区間に加え(1工区)、(高原工区)が事業化されており、一体として整備することにより国道330号～国道329号が4車線道路で繋がり、ネットワーク機能の強化等が図られる。 ③ 事業効果の発現状況： 事業効果は発現されていない。				
8 今後の対応・見通し	① 事業計画等：現計画どおり事業を進め、令和9年度の完成を目指す。 ② 対住民関係：難航用地については、任意交渉と並行して、土地収用法に基づく取得も視野に入れた対応を進める。 ③ 執行体制等：現在の体制で取り組む。				
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				
10 その他 (前再評価での主な意見等)	・特になし。				